

## 1. データ回転機能

この機能を有効にすると、データを反時計回りに90度回転して出力できます。

データ回転機能の設定は、「設定」メニュー内の「データ設定」「データ回転」で行います。

TRC02 ver8.4.0.6

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り

設定

データ設定

| DXF ペン設定 | HPGL ペン設定 | データ間隔           |     |
|----------|-----------|-----------------|-----|
| 1 C1     | PEN1: P1  | 83 mm           | パター |
| 2 P1     | PLN2: C1  | X軸側データ分割        | 切取  |
| 3 P1     | PFN3: P1  | 887 mm          | 残   |
| 4 P1     | PEN4: P1  | 原点オフセット (スライダ側) |     |
| 5 P1     | PEN5: P1  | 0 mm            |     |
| 6 P1     | PEN6: P1  | データ回転           |     |
| 7 P1     | PEN7: P1  | 正転              | 描画  |
| 8 その他 P1 | PEN8: P1  |                 |     |

データ出力位置設定

描画データを中央に配置する ☒ 1バイト文字を半角 ☒

データ出力時確認設定

データ出力時に確認する ☐ データ回転 ☒ 無し

TRC02 ver8.4.0.6

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り

設定

データ設定

| DXF ペン設定 | HPGL ペン設定 | データ間隔           |     |
|----------|-----------|-----------------|-----|
| 1 C1     | PEN1: P1  | 83 mm           | パター |
| 2 P1     | PLN2: C1  | X軸側データ分割        | 切取  |
| 3 P1     | PFN3: P1  | 887 mm          | 残   |
| 4 P1     | PEN4: P1  | 原点オフセット (スライダ側) |     |
| 5 P1     | PEN5: P1  | 0 mm            |     |
| 6 P1     | PEN6: P1  | データ回転           |     |
| 7 P1     | PEN7: P1  | 正転              | 描画  |
| 8 その他 P1 | PEN8: P1  |                 |     |

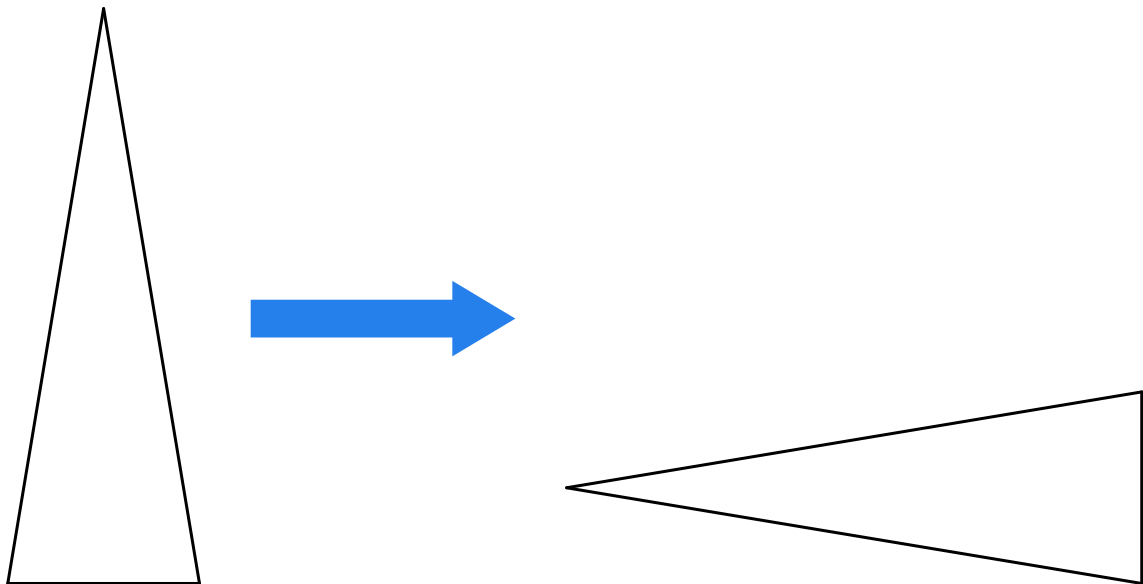
データ出力位置設定

描画データを中央に配置する ☒ 1バイト文字を半角 ☒

データ出力時確認設定

データ出力時に確認する ☐ データ回転 ☒ 90度

### Ex) データ回転した場合



TRC02 ver8.4.0.6

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り フィルム戻し

待機中

0%[0/0]

設定

実行フォルダ

ファイル名

作成日時

状態

データ回転

動作モード

手動出力

[データ回転] を [90度] に設定すると、ホーム画面に「データ回転」と表示されます。

## 2. インク残量設定 残量警告設定

[インク残量計を有効にする] が有効な時に、警告を発するタイミングを選択できるようになりました。

インク残量が無くなった時に、[出力時] にチェックを入れると、データ出力前に警告画面が出現します。

[動作時] にチェックを入れると、データ出力途中に描画を一旦停止させて、警告画面が出現します。

残量警告設定は、「設定」メニュー内の「インク残量」「残量警告設定」で行います。

TRC02 ver8.4.0.6

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り フィルム戻し

設定

インク残量設定

☒ インク残量計を有効にする

残量警告設定 ☐ 出力時 ☒ 動作時

インク残量: 2278.000 m Reset

| 使用ペン                                | ボール径(mm) | 描画距離(m)  |
|-------------------------------------|----------|----------|
| <input type="checkbox"/>            | 0.38     | 2997.000 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 0.5      | 2278.000 |
| <input type="checkbox"/>            | 0.7      | 1627.000 |
| <input type="checkbox"/>            | 1.0      | 1139.000 |

Default値

書き込み 読み込み

ペン交換

ペンのインク残量が不足しています。

新しいペンに交換して、

「Restart」ボタンを押下してください。

警告画面

Restart

TRC02 ver8.4.0.6

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り フィルム戻し

設定

待機中

0%[0/0]

実行フォルダ

ファイル名

作成日時

出力 一時停止 停止

インク残量 [100.0%] 動作モード

状態

手動出力

原点復帰

[インク残量計を有効にする] にチェックを入れると、ホーム画面にインク残量が百分率で表示されます。

### 3. データ中心分割機能(Y軸側データ分割)

Y軸側データ分割機能に、「データ中心分割機能」を追加しました。

この機能を有効にすると、Y軸側でデータを中心分割します。

「Y軸側データ分割設定1」内の「分割範囲設定」内で設定します。

TRC02 ver.8.4.0.6

フィルム残量 48.000 m

Y軸側データ分割設定1

データ中心分割設定

☒ データ中心分割する ※Max[1800.4]

分割範囲設定

描画範囲設定 900.2 mm

重ね代設定: 0 mm ※Max[450.1]

合わせ基準線設定

合わせ基準線を描画する P1

合わせ基準線位置: ☒ 内側 ☐ 外側

合わせ基準線間隔: 500 mm ※[20~]

カッティング線設定

☐ カッティング線を追加する C1

カッティング線オフセット: 0 mm

合わせ中心線設定

☐ データ中央に破線を描画する LT2

LT1: 20 mm

LT2: 20 mm

LT3: 20 mm

LT4: 20 mm

次ページ

[データを中心分割する] は  
2分割の為、出力データの最大値が  
描画範囲の2倍までとなります。

出力データの最大値を

「Max[...]」として表示しています。

※この値は、[重ね代設定] の値に  
よって変動します。

Ex)描画範囲が [900.2mm] で  
重ね代が [20mm] の場合は、  
 $(900.2 \times 2) - 20 = 1780.4$

※Max[1780.4] となります。

TRC02 ver.8.4.0.6

フィルム残量 48.000 m

データ設定

HPGL ペン設定

データ間隔 83 mm

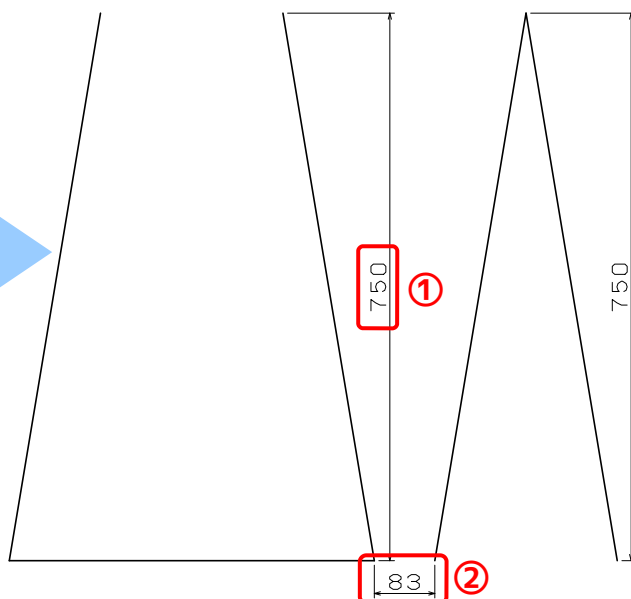
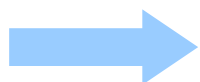
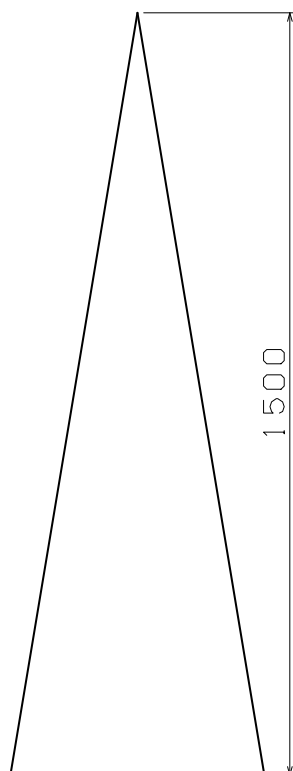
カッティングパターン

パターン: [パターン#1] [パターン#2]

切取り部: 10 mm 7 mm

残存部: 0.28 mm 0.3 mm

#### Ex)高さ1500mmのデータを中心分割で出力する場合



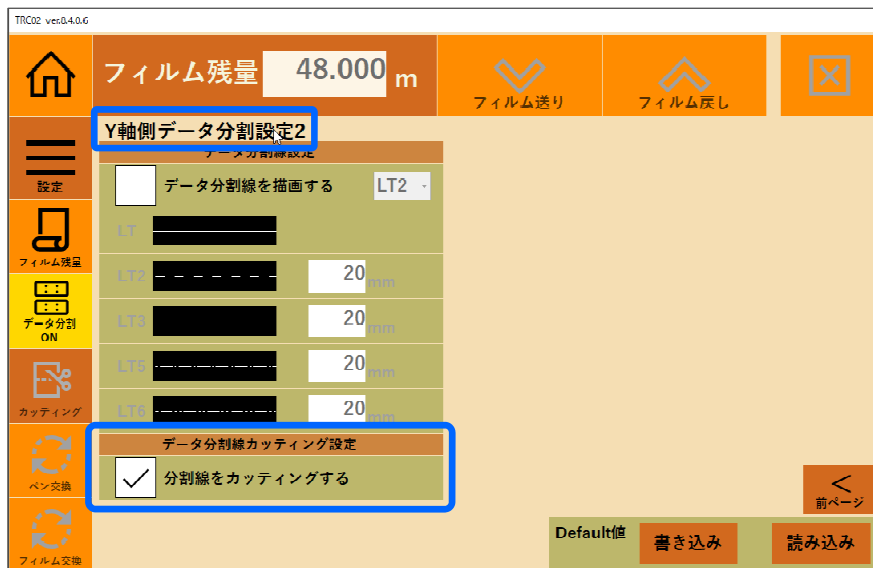
- ◆[データを中心分割する] にチェックを入れます。
- ◆データを中心分割するので、[1500mm] を [750mm ①] で分割します。
- ◆分割したデータは、フィルムの中央に配置されます。
- ◆分割したデータの間の隔は、「データ設定」内の[データ間隔 ②]の数値になります。

#### 4. 分割線をカッティングする（Y軸側データ分割）

Y軸側データ分割機能に、「データ分割線カッティング設定」を追加しました。

この機能を有効にすると、Y軸側データ分割した分割線をカッティングします。

「Y軸側データ分割設定2」内の「データ分割線カッティング設定」にて設定します。



カッティングパターンは、  
「Y軸側データ分割設定1」の  
「カッティング線設定」で選択した  
カッティングパターンとなります。

#### Ex)高さ1500mmのデータを中心分割して、分割線をカッティングする場合

